

いなば泰子

ニュース



9月議会での質問から

市民本位の稲葉さん追及

市長不在（衆院選挙に立候補）の九月議会が五日から二十八日まで開かれ、約十一億円の補正予算が成立しました。日本共産党市議団は、合併政令市関連と北長瀬駅関連の予算には反対、「単県医療費公費負担制度の補助率正を求め意見書」は、全会一致で採択されました。稲葉議員が追及した中から二項目について聞きました。（詳細は『市政ニュース』をご参照ください）

家庭ゴミを減らす対策は？

有料化しない提案
 国の方針を受けて、岡山市は一般廃棄物有料化の検討を始め、政令市、中核市、特例市、県内市町村に有料化の目的、手数料の決め方等の制度設計について調査の段階といっています。

なぜ、「ごみが減らないか、自治体の大きな負担になるか、大元は国の法律、循環型社会形成基本法（二〇〇二年制定）に、廃棄物の適正処理やリサイクル推進は入ったが、生産者責任の導入を先送りにしたことにある」と指摘しました。すでに有料化している北九州市や出雲市の例から、ゴミ処理を有料化しても減量促進にならぬ実情を示し、有料にしないよう迫りました。



10月9日投票の市議補選で、林潤氏を日本共産党6人目の議員にと頑張りました。結果は、残念ながら4位に終わりましたが、23,433人もの方から支持されました。「子育て支援の確立を岡山市政に」という訴えは多くの有権者の共感を得ました。（写真は候補者の林さん）

「他の減量施策と併せて実施するのが重要と考える」という答えでした。分別収集や再利用再生産でゴミゼロにとりくみながら、有料化を考えるとという含みをもつ答弁です。

企業責任を法律に位置づけさせること、市民と協同でゴミの減量にとりくみつつ、市民に負担をさせないよう追及していきます。災害に強い岡山市を・・・

ハザードマップ作成を約束

昨年の台風による甚大な災害を教訓に、デジタル防災無線・ポンプの購入など充実しましたが、今年の十四号台風でも、床上・床下浸水・人的被害が発生しました。災害から住民のいのちと暮らしを守ることは行政の課題です。市は、地域に「自主防災会」を、市民の自主的な防災活動を促し支援する、という消極的などりくみですませようとしています。

市民が普段から岡山市の災害に関する状況を知っておくことは、命を守るために大切なことです。そこで、避難場所だけでなく、土石流危険箇所や地すべり危険箇所など、災害の発生しやすい箇所が一目でわかる地図、「ハザードマップ」について質問しました。倉敷市は、すでに全戸に配布しています。岡山市は作成計画があるのか、いつ、つくるのか聞きました。

ホームページに掲載の防災や災害情報をあわせたもの、そして、避難を最重視した「ハザードマップ」を作成する。その時期は来年度になる可能性があるとの答弁でした。

突然の総選挙、続いて市長・市議補選があり、しばらく本紙を休刊しました。

稲葉泰子

今後のスケジュール

- 10月22日(土) 国体開会式
- 28日(金)・29日(土) 年金者組合東分會・犬島自然の家
- 30日(日) 中国残留孤児訴訟・2周年
- 11月2日(水)~11日(金) 決算委員会
- 5日(土) 障害者スポーツ大会・開会式
- 20日(日) 中島町内会・バス旅行

憲法が変わったら どうなる？

山口和秀先生を講師にした岡北地区9条の会の第3回「憲法塾」は、11月13日(日)午後2時から北公民館で開かれます。

9月3日の第2回は、自衛権や集団的自衛権などが、わかりやすく解説されました。日本が本当に9条を実践し、アピールしてきたら、もっとアジア諸国の信頼を得ていたという思いが強まりました。

なお、稲葉市議は日程の都合が付く限り会に参加し、みなさんの声を聞き学習を深めています。



グリーン・シャワー公園への道に危険防止柵
市民が憩う市内祇園の公園への道は、旭川荘利用者の散歩道でもあります。片側に深い用水があり、夜は暗く、車イスで散歩するのは危険な道でした。地元の方からも、早くなんとかしてほしいと要望があり、市当局に要求して道路保全課と地元の方と一緒に点検し、ガードレールが設置されました。(上に写真)「道の片側は三メートル下にみぞがあり命にかかわる場所で、バイク

安全・安心な街づくり
生活者の立場で
稲葉泰子
みなさんの声にもとづいて市当局に要求し、安全で安心な街づくりをすすめる二つの事例をご報告します。



も自転車・車椅子も、ほんとうにこわい思いで通っていました。稲葉さんが市に声を届けてくれ、ガードレールがついてみんな喜んでおります。」(地元の声)
住民にやさしい道路行政を
県道美作線の三野地域から赤磐市方面の道路の拡張工事にもとない、歩道、バス乗り場の整備も進められています。道路が拡張されて、すでに生活道路とはかけ離れた、幹線道路に様変わりしています。
中でも、JR備前原駅付近の踏み切りを渡って、東の県道まで上がる階段は、高齢の方には使いにくいという声を聞きました(左の写真)。早速、森脇県議にも伝えて点検しました。地域の方が、バス乗り場や河川敷を利用しやすいように、生活者の視点で整備してほしいものです。

みんなの 声

衆議院選挙の結果をみてショック、与党が圧勝なんて。しかし、その後の新聞などをみると、小選挙区

での自民・公明の得票率は四九・二％(半分の支持もない)、これで議席は七五・七％だという。比例をあわせて三百二十七議席で三分の二を超えた。これって、インチキだなあと思っています。

小選挙区制のからくり

小選挙区制って、民意がちゃんと議席に結びつかないんですね。そして、反対意見をスパパ切り捨てる小泉さんのやり方は怖い。また、今まで郵政民営化に反対と言っていた議員が、ガラリと賛成なんて、だらしないですよ。国民は「増税」や「戦争をする国になること」に賛成したわけじゃないですよ。オール与党のような国会の中で、「たしかかな野党」として共産党にがんばってほしいです。

(今在家・B子)